

SHARP®

AUVi
1-BIT DIGITAL AUDIO

$\Delta\Sigma$
1-BIT TECHNOLOGY

1ビットパワードサブウーハー

シー ビー エス ダブル
形名 **CP-SW50**

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ご使用前に、「安全に正しくお使いいただくために」
を必ずお読みください。

この取扱説明書は、いつでも見ることができる所に
必ず保存してください。



1bit
Technology

1章 はじめに

	ページ
おもな特長	2
付属品について	2
安全に正しくお使いいただくために	3
各部のなまえ	6

2章 使う前の準備

	ページ
サブウーハーを設置する	7
接続のしかた	8

3章 使う

	ページ
電源の入れかた	9
音の調整のしかた	10

4章 ご 参 考

	ページ
「故障かな？」と思ったら	12
仕様	13
お手入れについて	13
保証とアフターサービス	14
お客様ご相談窓口のご案内	15

おもな特長

CP-SW50

歯切れの良い重低音を再現する

**実用最大出力 50W、1 ビットデジタル
アンプ搭載**

防磁型スピーカー採用

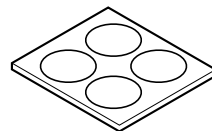
付属品について

CP-SW50

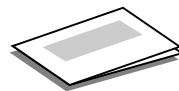
付属品がすべてそろっているか、お確かめください。



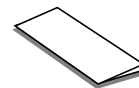
音声接続用コード×1



すべり止めシート×4



取扱説明書×1



保証書×1

- カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

安全に正しくお使いいただくために

CP-SW50

1

はじめ

安全に正しくお使いいただくために

3

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。

その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。

内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

**警告**

人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。

**注意**

人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味



この記号は
気をつける必要がある
ことを表しています。



この記号は
してはいけない
ことを表しています。

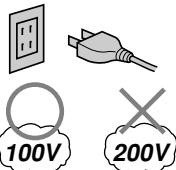


この記号は
しなければならない
ことを表しています。

警告

電源について

AC100V 以外の電源電圧では
使用しない



火災・感電の原因となります。

外国では使用しない



この製品を使用できるのは
日本国内のみで、外国では電源
電圧が異なりますので使用しな
いでください。

(This unit cannot be used
in foreign countries as
designed for Japan only.)

雷について

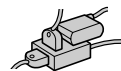
雷が鳴りだしたら…
安全のため、製品にさわらないで
ください



感電の原因となります。

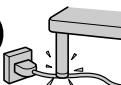
電源コードについて

タコ足配線はしない



発熱により、火災
の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げ
たり、ねじったり、引っぱったり、
加熱したり、加工したり、重い物
を乗せたりしない



電源コードが破損
し、火災・感電の
原因となります。

電源コードが傷ついたときは…

販売店に交換をご依頼ください



そのまま使用すると、火災・
感電の原因となります。

安全に正しくお使いいただくために（続き）

CP-SW50

内部に物や水などを入れない

開口部（放熱孔など）から金属類や燃えやすい物などを入れない



火災・感電・けがの原因となります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない



火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない



こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください



そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない



火災・感電・けがの原因となります。内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

高温部への接触について

使用中は、内部から発生する熱により、表面が熱くなります。



長時間触れていると、やけどの原因となる場合があります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…

電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください



異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

⚠ 注意

置き場所について

不安定な場所に置かない



落ちたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない



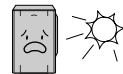
火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない



露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない



火災・事故の原因となることがあります。

電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っばらない



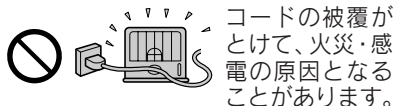
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない



感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない



コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

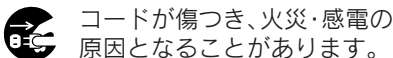
コンセントへの差し込みがぐらついたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する



火災・感電の原因となることがあります。

移動するときは

電源を切り、電源コードや接続コードを抜く



コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

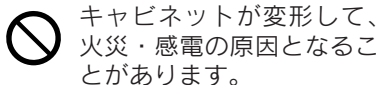
ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、
つつんだりしない



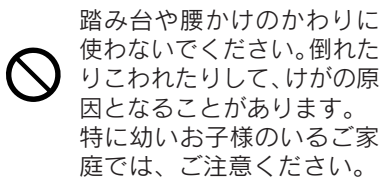
熱がこもり、キャビネットが変形し、
火災の原因となることがあります。

この製品の上に物を置かない



キャビネットが変形して、
火災・感電の原因となることがあります。

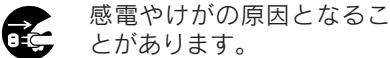
製品の上に乗らない



踏み台や腰かけのかわりに
使わないでください。倒れたり
こわれたりして、けがの原
因となることがあります。
特に幼いお子様のいるご家
庭では、ご注意ください。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



感電やけがの原因となることがあります。

機器の接続について

他の機器を接続するときは、指定のコードをお使いください



ステレオなど

接続するときは、必ず電源を切り、
他の機器の取扱説明書をよく読み、
説明に従って接続してください。
また、指定以外のコードを使用す
ると、故障の原因となります。

長期間ご使用にならないときは

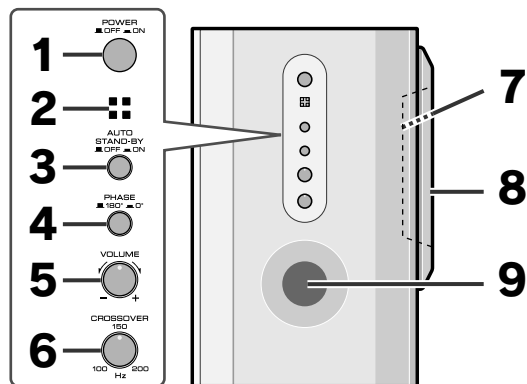
安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください



- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。(P.15)
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

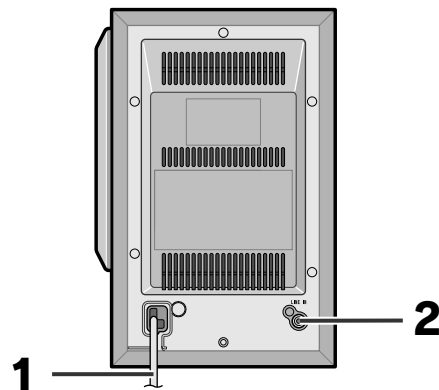
各部のなまえ

CP-SW50



参照ページ

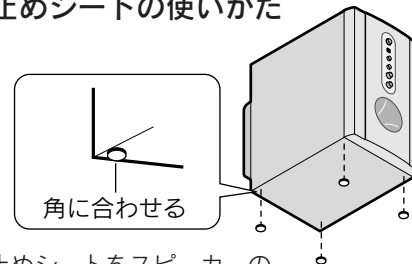
1. 電源ボタン (POWER) 9
2. 電源表示ランプ 9
3. オートスタンバイボタン (AUTO STAND-BY) 9
4. 位相切換ボタン (PHASE) 11
5. 音量調整つまみ (VOLUME) 10
6. クロスオーバーつまみ (CROSSOVER) 10
7. サブウーハー
8. スピーカーネット
(スピーカーネットは、取り外すことができません。)
9. スピーカーダクト



参照ページ

1. 電源コード 8
2. ライン入力端子 (LINE IN) 8

すべり止めシートの使いかた



すべり止めシートをスピーカーの
底面に貼り付けてください。

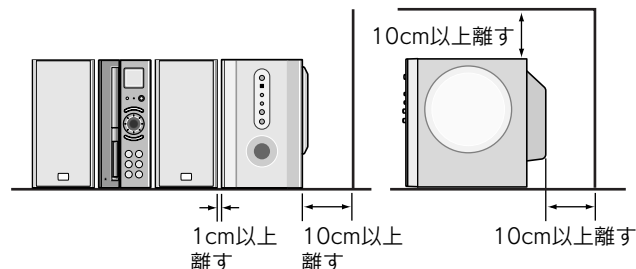
サブウーハーを設置する

CP-SW50

2

■ 設置について

振動しにくいしっかりした床に設置してください。
このサブウーハーの天面や背面、側面は熱くなります。
放熱をよくするため、離して置いてください。



- 5℃～35℃の場所でお使いください。
- テレビ・パソコン・携帯電話などの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。

防磁スピーカーについて

このサブウーハーは防磁対応されていますので、テレビの横に置くことができます。ただし、使うテレビによっては、テレビ画面に色ムラが生じることがあります。

テレビに色ムラがおきたら…

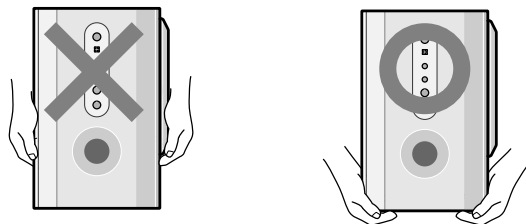
いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色ムラが残るときは…

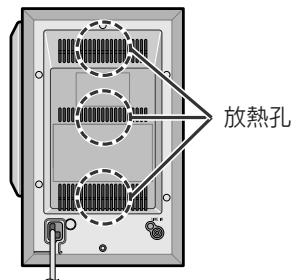
サブウーハーをさらにテレビから離してください。

ご注意

- 持ち運ぶときは、右側面にあるスピーカーネットを強く押さえないように注意してください。サブウーハーが破損することがあります。必ず、製品の底面を持ってください。



- 放熱をよくするために、背面に放熱孔があいています。放熱孔を物でふさがないように注意してください。



高温部への接触について

使用中は、内部から発生する熱により、表面が熱くなります。長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

準備

設置する

接続のしかた

CP-SW50

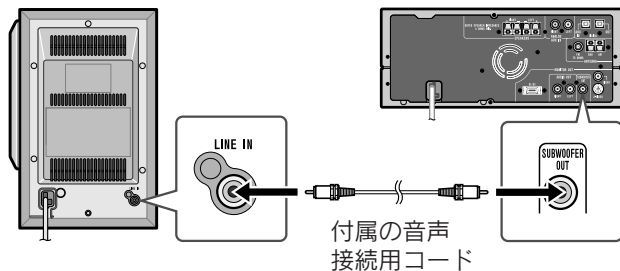
準備

接続のしかた

1. 接続をするときは、必ず電源コードをコンセントから外してください。
2. 下記の説明に従って、このサブウーハーと他の機器を接続してください。
3. 接続が終わったら、正しく配線されているか、もう一度お確かめください。
4. 全ての接続が完了したら、このサブウーハーおよび各機器の電源コードをコンセントに接続してください。

■ アンプのサブウーハー(スーパーウーハー) 出力端子に接続する

付属の音声接続コードを使用して、この製品背面の入力(ライン ライン イン IN) 端子とアンプ (またはレシーバーなど) のサブウーハー (スーパーウーハー) 出力端子を接続します。

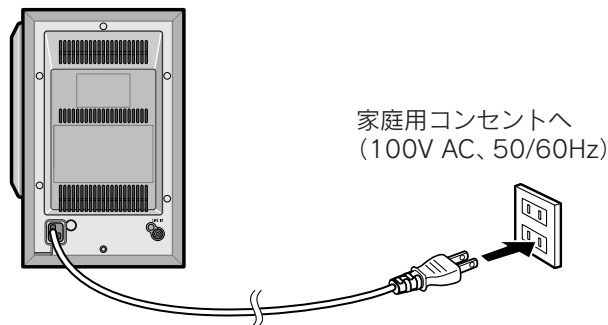


お知らせ

アンプにサブウーハー (スーパーウーハー) 出力端子がない場合は、それにかわるライン出力端子 (プリ プリ アウト アウト PRE OUT など) に接続します。

■ 電源コードを接続する

電源コードを家庭用コンセントに確実に差し込んでください。



ご注意

電源コードを抜くときは、電源を切ってから差し込みプラグを抜いてください。

節電のために

旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。

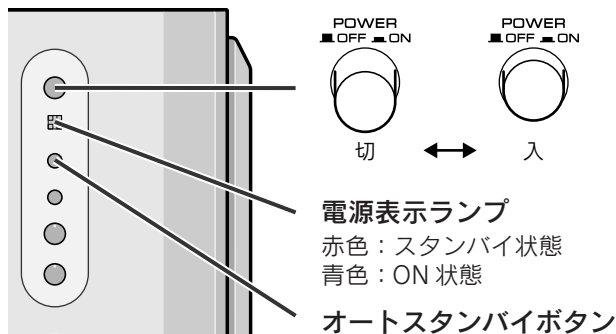
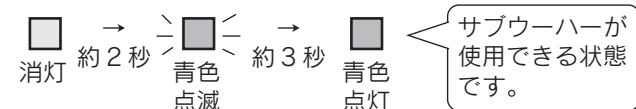
電源の入れかた

CP-SW50

3

■ 電源を入れる

POWER ボタンを “ **■ ON** ” にする。
電源表示ランプが次のようになります。



電源を切るには…

もう一度、POWER ボタンを押して、“ **■ OFF** ” にする。
電源表示ランプが消えます。

お知らせ

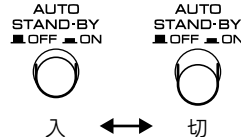
- 電源の「入」「切」は、3 秒以上の間隔をおいて行ってください。
- 電源表示ランプが赤色の点滅になった場合は、保護回路が働いています。POWER ボタンを “ **■ OFF** ” にして、電源プラグをコンセントから抜き、5 分以上たってから再び差し込んでください。

■ オートスタンバイの切換

オート スタンバイ

(AUTO STAND-BY ボタン)

電源が入っている状態で “ **■ ON** ” にしておくと、アンプからの信号がないときは自動的にスタンバイ状態にすることができます。



オートスタンバイについて

オートスタンバイは、使用中にアンプからの信号がなくなると自動的にこのサブウーハーをスタンバイ状態にし、再びアンプからの信号を検出すると電源を入れる機能です。アンプからの入力信号がない状態が約5分続くと、自動的に電源が切れスタンバイ状態となります。

「電源表示ランプは、青→赤」



再びアンプからの入力信号を受けると、自動的に電源が入ります。「電源表示ランプは、赤→青（点滅）→青（点灯）」

- スタンバイ状態のとき、微量の電力を消費します。

長時間使用しないときは、POWER ボタンを “ **■ OFF** ” にしてください。

使う

電源の入れかた

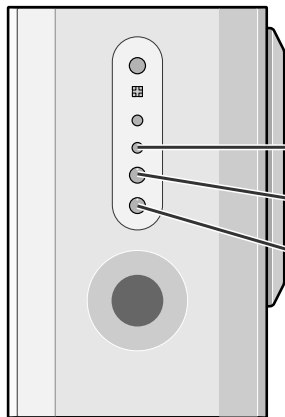
音の調整のしかた

CP-SW50

音の調整は、このサブウーハーを設置する部屋の状況や設置する場所、組み合わせるフロントスピーカーの特性に合わせて、音量・クロスオーバー周波数・位相を調整することができます。通常聞く位置で自然な低音域再生になるように、これらを調整してください。

使う

音の調整のしかた

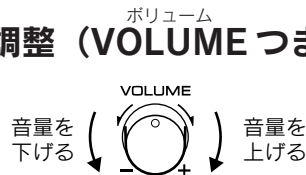


位相切換ボタン

音量調整つまみ

クロスオーバーつまみ

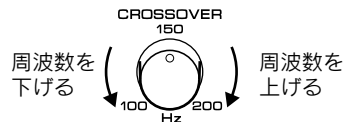
■ 音量の調整 (VOLUME つまみ)



VOLUME つまみで調整します。
他のスピーカーの音量とバランスがとれるように調整します。

■ クロスオーバー周波数の調整 (CROSSOVER つまみ)

フロントスピーカーの大きさ、再生する音楽のジャンルまたは映画音声など、再生するソースに合わせて好ましい低音再生になるように調整することができます。



クロスオーバーについて

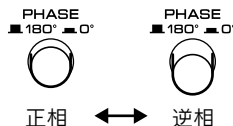
サブウーハーから再生される音の高音域成分をカットする周波数を CROSSOVER つまみでかえて、フロントスピーカーとのつながりを調整します。
目安として、フロントスピーカーの最低再生周波数（再生可能な最も低い周波数）の少し高めに合わせます。

■ 位相の切換 (PHASE ボタン)

フェイズ

次のような場合、PHASE ボタンで位相を切り換えてみてください。

- フロントスピーカーとサブウーハーの低音域再生のつながりが不自然に聞こえる場合。
- 部屋、設置場所の影響で通常聞く位置で音量が不自然に小さくなる場合。



位相について

フェイズ

- PHASE ボタンは、フロントスピーカーに対して正相につながるか逆相につながるかを切り換えるボタンです。切り換えることによって、音の雰囲気が変わることがあります。あくまで聴感的ですが、正相でつながるか逆相でつながるかによって低音ばかりでなく全帯域にわたって音の広がりやしまりが変化し音場感に影響を与えます。
- フロントスピーカーの種類（密閉、バスレフ）や設置状況によってそれぞれ異なるため、設置のときに正相／逆相の両方を試聴して最も自然な再生音になる方を選んでください。



音のエチケット

- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくするか、ヘッドホンでお楽しみください。

ご注意

過大な入力でサブウーハーを使用すると、音質をそこねたり、また故障の原因となることがありますので、次のことに十分注意してください。

- 接続するアンプの音量を上げ過ぎると、アンプの出力がひびき、過大入力となりますので、音量を上げ過ぎないでください。
- 接続するアンプの低音域のレベルを大幅にあげた状態で、大出力でご使用にならないでください。
- 接続するアンプのスイッチを切り換えるときは、接続するアンプの音量を最小にしてください。

「故障かな？」と思ったら

CP-SW50

次のようなときは故障でないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。
それでも具合の悪いときは、14 ページの「保証とアフターサービス」をごらんのうえ修理を依頼してください。

スピーカーから音が出ない。

- 接続コードがしっかりと差し込まれていますか。
「**接続のしかた**」をごらんの上、正しく接続し直してください。  P.8
- 音量が“0”になっていませんか。適切な音量にしてください。  P.10
- 接続されている機器のサブウーハープリ出力から信号が出力されていますか。(接続されている機器にプリ出力 ON/OFF の切換がある場合は、「ON」にしてください。)
- 接続されている機器の音量が最小になっていませんか。

音が小さい。

- 音量が小さくなっていませんか。適切な音量にしてください。  P.10
- 位相の選択がまちがっていませんか。
フェイズ
PHASE ボタンで位相を切り換えてみてください。
 P.11
- 接続されている機器の音量が適切なレベルになっていますか。

ラジオ放送に雑音が入る。

- サブウーハーをラジオ受信機の近くで使用していませんか。

スピーカーから雑音が出る。

- パソコン・携帯電話などの機器が近くにありませんか。

電源が入らない。

- 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。
 P.8
- 電源表示ランプが赤色点滅していませんか。
保護回路が働いています。電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから再び差し込んでください。
それでも、電源表示ランプが赤色点滅するときは、お買いあげの販売店に修理をお申し付けください。
 P.9

参考

「故障かな？」と思ったら

仕様

アンプ／共通部

実用最大出力	50 W (JEITA)
A/D ノイズ シェーピング	7 次 $\Delta\Sigma$ (デルタシグマ) 変調
入力端子	アナログ外部入力：200mV (47k Ω) ピンジャック× 1
電源	100 V AC、50/60 Hz
消費電力	AC 28 W
最大外形寸法	184(幅)×270(高さ)×302(奥行)mm (JEITA)
質量	約 4.8 kg

スピーカー部

形式	バスレフ型
スピーカー	ウーハー：13cm × 1 [防磁設計 (JEITA)]

お手入れについて

CP-SW50

4

やわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。



ご注意

ベンジン、シンナーなどは使わないでください。
変質したり、塗料がはげることがあります。



参考

仕様／お手入れについて

保証とアフターサービス

よくお読みください

CP-SW50

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
お買いあげの日から1年間です。
保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、1ビットパワードサブウーハーの補修用性能部品を製造打切後、8年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口（15ページ）にお問い合わせください。

愛情点検



長年ご使用のオーディオ機器の点検を！

このような
症状は
ありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。
なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは 出張修理

- 「“故障かな？” と思ったら」（12ページ）を調べてください。それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

品 名 : 1ビットパワードサブウーハー
形 名 : CP-SW50
お 買 い あ げ 日 (年 月 日)
故 障 の 状 況 (できるだけ具体的に)
ご 住 所 (付近の目印も合わせてお知らせください。)

お 名 前
電 話 番 号
ご 訪 問 希 望 日

■ 便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年 月 日	電 話 () -

■ 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内

CP-SW50

4

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品の
ご購入に関するご相談は・・・ **修理相談センター** へ
- 製品のお取扱い方法、
その他ご不明な点は・・・ **お客様相談センター** へ

お客様相談センター

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

東日本相談室	TEL 043-297-4649	FAX 043-299-8280
	〒261-8520 千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL 06-6621-4649	FAX 06-6792-5993
	〒581-8585 大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時 ＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）



0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
呼出音の前に、N T Tより通話料金の目安をお知らせ致します。
（注）携帯電話・PHSからは、下記電話におかけください。

	<東日本地区>	<西日本地区>
○ 携帯電話／PHSでのご利用は…	（一般電話） 043-299-3863	06-6792-5511
○ F A X を送信される場合は…	（F A X） 043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **「持込修理および部品購入のご相談」**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にて承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は・・・＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠 点 名	電 話 番 号	郵便番号	所 在 地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたま サービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市松台295-1
東海地区	横浜 サービスセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市新子区中原1-2-23
	静岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水島坂1170番1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	神戸 サービスセンター	078-453-4651	〒658-0082	神戸市東灘区魚崎北町1-6-18
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

●所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

参考

お客様ご相談窓口のご案内

● 製品についてのお問い合わせは・・	
お客様相談センター	東日本相談室 TEL 043-297-4649 FAX 043-299-8280
	西日本相談室 TEL 06-6621-4649 FAX 06-6792-5993
《受付時間》 月曜～土曜：午前 9 時～午後 6 時 日曜・祝日：午前 10 時～午後 5 時（年末年始を除く）	
● 修理のご相談は・・	15 ページ記載の『お客様ご相談窓口のご案内』をご参照ください。
● シャープホームページ	http://www.sharp.co.jp/

シャープ株式会社

本 社 〒545-8522 大阪市阿倍野区長池町22番22号
 AVシステム事業本部 〒739-0192 東広島市八本松飯田2丁目13番1号